



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第2回例会(7月8日)  
平成28年7月15日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL(651)1111(代)  
例会日 毎週全曜日12時30分～

会長 駒木 進  
幹事 海野 尚  
会報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョンF ジャーム

2016-2017 年度

## 第1回クラブアッセンブリー

### ■クラブ奉仕委員会／吉江信博 委員長

RI ジョンF・ジャーム会長は「人類に奉仕するロータリー」と呼びかけており、盛岡ロータリークラブ駒木進会長は「唇に歌を そして明るく楽しいロータリー活動」と呼びかけております。

クラブ奉仕委員会ではそのテーマに則り、明るく楽しいそして少しでも人類に奉仕できるロータリー活動を心掛けて行きたいと思っております。

さらに80周年に向けて会員増強を図る一方で、ご家族にもロータリー活動を理解して頂けるように、懇親会やゴルフ練習会へのご家族の参加機会を増やすように努めて参ります。

### 〔職業分類〕佐藤義正 委員長

1. 新しい職種が増えているので、職業分類一覧表にない職業が数多くあると思っております。したがって会員増強の際には分類表にとらわれることなく推薦して頂き、その際に柔軟に対応して一覧表に追加していきたいと思っております。
2. 会員増強のために関連委員会と連絡を密にとりつつ、務めを果たして参ります。

### 〔会員選考〕村井研一郎 委員長

推薦のあった候補者について、以下の点を重視して理事会へ報告いたします。

1. 盛岡クラブの会員として、お人柄、見識ともにふさわしい方であること。
2. 例会および会の集会への出席を重視し、きちんと出席出来る性格と健康の持ち主であ

る方、尚、会の今後の発展のため、将来性のある若手を歓迎。

3. 会員と友情を深め、クラブライフを楽しむことの出来る方であること。

### 〔会員増強〕平井 滋 委員長

今年も奉仕活動と共に明るく楽しいロータリー活動への新たなお誘いに努めて参ります。先ずはお仕事の都合により異動で退会された会員の後任者の継続入会に加え、会員の皆様の協力をいただきながら地元会員の純増2名を目標にしております。

歴史と伝統により周りからは「敷居が高い」、また出席義務が大変との話が以前は多かったのですが、近年の「楽しいロータリー活動」を前面に出して、皆様からの積極的なご紹介をお待ちしております。

### 〔ロータリー情報〕吉田幸一 委員長

駒木会長の活動テーマ「唇に歌を そして明るく楽しいロータリー活動」を理解し、ロータリーへの知識と友情を深め、クラブの活性化に努めます。

1. 各委員会と連携し、新入会員のためのオリエンテーションを行い、共に歴史と綱領の学習に努めます。
2. 会員にロータリー財団や米山記念奨学会の情報を提供し、ポールハリスフェローや米山功労者を増やすように努めます。

### 〔出席〕近藤 駿 委員長

ロータリーを理解する事、親睦を深める事、

それにはまず例会に出席することから始まります。盛岡クラブでは出席は自然体でと言っています。出られる時に出ればいいそれが自然体だとの風潮がありますが、そうではなく例会に出席することが自然体です。何とか出席をして駒木会長のテーマである「唇に歌を、そして楽しいロータリー活動」をしましょう。

1. 他クラブの例会変更を最大限情報提供する。
2. 新入会員にメーキャップの方法や出席の意義について認識を深める。
3. 欠席がちな会員には推薦会員や会長から出席をするよう促していただく。

〔会報〕熊谷隆司 委員長

当クラブの会報は、当クラブの長い伝統と先輩各委員の永年の努力により、内容にしてもスタイルにしても完成度の高いものになっていると考えます。したがって、今期も基本的にはこれまでの路線を継承しながら、必要に応じて新たな工夫を加え、会員の皆様に一層読み親しまれる会報作りに努めます。

1. 駒木進会長のテーマ「唇に歌を そして明るく楽しいロータリー活動」に沿った会報発行に努めます。
2. ロータリー活動、新入会員紹介など、会員に必要な情報を積極的に掲載します。
3. 「記録としての会報」も意識して紙面を作ります。
4. 卓話者に原稿依頼をするなど、会報発行作業の円滑化、会報作成のコスト削減に努めます。

〔親睦〕勝 雅行 委員長

駒木会長のテーマは「唇に歌を そして明るく楽しいロータリー活動」と呼びかけております。その方針を踏まえ、明るく、楽しい例会・親睦行事となるよう取り組んで参ります。また、訪問ロータリアン及びゲストを心から歓迎し、楽しく有意義なひと時となる様他の委員会に協力しながら積極的に行動します。

また、ニコニコBOXは前年度を上回る額とします。よろしくお願ひします。

〔雑誌・広報記録〕藤村文昭 委員長

1. ロータリークラブの目的を地域社会の人々

に伝えるため、盛岡ロータリークラブの奉仕活動をメディアに積極的に提供していきます。

2. 機会あるごとにロータリー情報誌「ロータリーの友」について取り上げ、会員の皆様からの寄稿を促してまいります。

〔プログラム〕福井誠司 委員長

1. ロータリーの魅力を高める為に例会の魅力を高めます。その魅力は例会のプログラムにあります。そのプログラムの中心となる例会卓話を充実させます。
2. ロータリーの財産は会員そのものです。その会員の皆さんが持っている様々な知見や活動を卓話によって共有し、ロータリーの魅力を高めていきます。
3. 新入会員を初め会員皆様の卓話を中心にプログラムを構成します。
4. 各委員会の担当月には委員会に卓話の人選をお願いしプログラムを構成していきます。
5. ロータリーの品位を損なうことなく盛岡ロータリーの歴史と文化を継承できるようにプログラムを進めていきます。

■ SAA/白石 茂 SAA

今年度駒木進会長の「唇に歌を そして明るく楽しいロータリー活動」の方針に沿って、伝統ある当クラブの品位を大切にしながら会員の交流と親睦をはかって参ります。

会員はもとより、新入会員やゲストやビジターにとって有意義な時間となるように努めて参ります。

会長、幹事、親睦委員会をはじめ各委員会と連携をとりながら、楽しい食事ができるよう運営をしてまいります。

■ 職業奉仕委員会/岡村 弥 委員長

職業奉仕は、自己の専門職を生かし、社会に奉仕する事にあると考えております。「四つのテスト」を基本に高い倫理観を持ち、社会に貢献出来る様に活動して参ります。また、我らが、駒木会長の掲げるテーマを踏まえて、会員企業訪問などの活動を、明るく、楽しく進めてまい

ります。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ■社会奉仕委員会／佐藤重昭 委員長

社会奉仕委員会は駒木進会長のテーマの下、地域社会への奉仕をモットーにしながらも、社会奉仕活動が会員にとって楽しい交流の場になるように運営していきたいと思えます。

具体的には「さくら・緑化推進事業」「環境保全ポスターの公募・表彰」「愛の助け合い運動」「復興支援活動」を今年度も推進していきます。

### ■国際奉仕委員会／三田光男 委員長

就任の挨拶と重複致しますが、国際奉仕委員会の活動は、国際上の関係から計画を実現するには時期的なことも考慮しなければならず、長期間を要します。今後は各委員会をご担当される諸先生方のご指導・ご指示の下に進めて参ります。

交換留学計画が成立すれば、長期の計画であれば開始時期により次年度の国際奉仕委員会へ繰り越されること、また、計画が不成立であっても「交換留学後の半世紀にわたる盛岡との交流」というテーマは、盛岡ロータリークラブの国際奉仕委員会の成果になると思えます。

### ■青少年奉仕委員会／高柳一郎 委員長

今年度も『青少年の健全育成』を目的として以下の活動をしてまいります。

1. 「盛岡農業高校インターアクトクラブ」への活動資金援助。また恒例となっております年忘れ家族会での農産品販売を通じて同クラブの活動を支援いたします。
2. 青少年の自立支援を目的として「ポランの広場」「少年鑑別所」などへ活動資金援助を行ないます。

### ■復興支援特別委員会／長澤 茂 委員長

東日本大震災津波から5年5ヶ月が経過しました。被災各地では間違いなく復興事業が行われております。しかし、現地に入ってみるとまだ整地、盛土の段階でほとんど住宅の再建はなされていない状態です。盛岡ロータリークラブでも様々な支援を行ってきました。そして、これからは委員会そして会員の皆様の提案があれば更なる支援を検討してまいりたいと思えます。

### 講評 田中堯史 第1分区ガバナー補佐



このたび第2520地区第1分区のガバナー補佐を仰せつかりました、田中堯史でございます。どこからどのようにして天の声が私のところに届いたのか、天の声なのか、神様のささやきなのかは分かりませんが、まだお前さんでも役に立つことが少しはあるだろうと云われているようなのでお引き受けした次第です。

そうは申しまして、「奉仕」という不思議な言葉とその響きに誘われて30年近く在籍はしていますが、ロータリーにつきましては深く勉強もせず、ただただ、この盛岡クラブの居心地の良さにどっぷりと浸かってきましたので、この大役を勤め果たせるのかどうか、はなはだ心もとない限りなのであります。

駒木会長は冒頭に国際ロータリーの規定審議会の決定事項について分かりやすく説明されましたが、こうした難しい問題も簡単に説明されたのはさすが我等が会長と思いました。盛岡クラブの2016-2017年度は駒木会長のリーダーシップのもとで、更に歴史と伝統を紡いでいくことと思えます。

2月には分区のIM開催も予定されています。当然、盛岡クラブがホストを務めなければならないわけですがこれからどういうIMにするかを考えていかなければなりません。

「明るく楽しいIM」の開催となるよう、そして濱守ガバナーと会員の皆さんとの絆がいつそう深まるよう願いつつ、たいへん微力ではありますが努力して参りますので皆様のお力添えのほどをよろしくお願い申し上げます。